

第40回全日本少年サッカー大会神奈川県大会要項

- 1, 趣 旨
 - ・日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカー技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。
 - ・将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。
 - 子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことをめざす。
 - 2, 名 称 第40回全日本少年サッカー大会神奈川県大会
 - 3, 主 催 公益財団法人日本サッカー協会 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団
読売新聞社 一般社団法人神奈川県サッカー協会
 - 4, 主 管 一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会
 - 5, 特別協賛 YKK/花王
 - 6, 協 賛 日本マクドナルド/日清オイリオグループ/ゼビオ
 - 7, 後 援 日本テレビ放送網/報知新聞社
神奈川県/神奈川県教育委員会/tvk
- ・新ルール適用
- キックオフ 決定的な得点 機会の阻止
- 9, 期日、会場
 - 1 1月13日(日) 1, 2回戦【5会場、8面】
 - 大和ゆとりの森(2面) 綾瀬スポーツ公園多目的広場(1面) 三浦潮風スポーツ公園
 - 星槎学園仙石原グラウンド(2面) 横浜みなとみらいスポーツパーク(2面)
 - 1 1月20日(日) 3, 4回戦【5会場、8面】
 - 大和ゆとりの森(2面) 綾瀬スポーツ公園多目的広場(1面) 海老名中野公園(1面)
 - 横浜みなとみらいスポーツパーク(2面) 日産自動車追浜総合グラウンド(2面)
 - 1 1月23日(祝) 5回戦、準々決勝【2会場、2面】
 - 大和ゆとりの森大規模多目的広場 相模原ギオンフィールド補助グラウンド
 - 1 1月27日(日) 準決勝 決勝
 - 日産自動車追浜総合グラウンド
 - 10, 参加資格 実施年度に(公財)日本サッカー協会に加盟した団体(チーム)であること並びに「U-12サッカーリーグ」に参加したチームとする。
選手証の提示を適用するため、上記団体(チーム)に所属する選手であり、日本サッカー協会発行の登録選手証(電子登録証)を有するもの
 - 11, 出場チーム数
 - U-12リーグの結果を反映して、以下により選出された128チームで行う
 - 横浜地区: 36 川崎地区: 17 県央地区: 25 湘南地区: 25
 - 県西地区: 13 その他G: 7 少女G: 5 計128チーム
 - 12, 参加費 10,000円

13, 組合せ抽選会、代表者会議

28年10月29日(日) 16:30~

会場: 藤沢商工会館 ミナパーク6F

14, 競技方法 トーナメント方式

試合時間は40分(20分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは5分とする。
同点の場合はPK(3名)により次回進出チームを決める。

決勝戦においては、同点の場合は10分間の延長を行い、同点の場合はPK(3名)により決する。

15, 競技規則 実施年度の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」及び「8人制サッカー競技規則」による。ただし、次の事項は、本大会用として大会規定を定め、優先する。

(1) 競技のフィールド

- ・縦68m、横50mとする。ただし、ピッチサイズは、それぞれの事情において設定してもよい。

(2) 競技者の数

- ・競技者の数は8名(試合開始時8名に満たない場合は棄権とみなす。試合中に怪我等による人数不足により8名に満たない場合には、そのまま続行する。)
- ・交代を行うことができる数: 制限しない。但し、個人登録した選手のみとする。
- ・ベンチ入りできる引率指導者は、2名以上3名以下とする。

(3) 審判員

- ・準々決勝戦までは、1名の主審と2名の副審が指名される。
副審については、チーム帯同の公認審判員をお願いします。
第2試合は、第1試合の両チームでお願いします。それ以降は後審判をお願いします。(第4審判員は置かない)
- ・準決勝からは、1人の主審と補助審判が指名される。
- ・副審担当者は、10分前にコート本部で打合せを行う。

(4) テクニカルエリア: 設置する

- ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

(5) ユニフォーム

- ・日本協会ユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用する。
- ・正・副2着用意する。
- ・着用ユニフォームについては、チーム間で話し合い、着用ユニフォームを決定する。
両方で決定できない場合は、大会本部で抽選を行う。

(6) 試合時間

- ・試合時間は40分(前後半20分) ハーフタイムのインターバル5分
- ・規定の試合時間内に勝敗が決しない場合
PK方式(3名)により勝利チームを決定する。決勝戦は、前後半5分の延長戦を行い、決しない場合は、PK方式(3名)により勝利チームを決定する。
延長戦に入る前のインターバル: 5分
PK方式に入る前のインターバル: 1分
- ・アディショナルタイムの表示は: 準々決勝から行う。

(7) 交代の手続き

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。

- ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ・交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる
- ・交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ・交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

(8) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可する。

(9) 懲罰

- ・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- ・警告を累積2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。
- ・退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置は第4種規律・フェアプレー委員会で決定する。

16 確認事項

メンバー表の提出、選手証確認

- ・定められた試合開始時刻の30分前までに、選手証を添えてコート本部へ1部、相手チームへ1部提出する。(選手証の提示は、1日1回初戦のみとする)
- ・選手証に不備のある場合及び不携帯の選手は、当該試合への出場を認めない。
- ・メンバー表は決められた用紙を使用し、試合ごとに提出する。

メンバー表は、少年部HPからダウンロードする。

ベンチについて

- ・ベンチに入る選手は、各々ビブス等をつける。
- ・ベンチは、組合せの若い番号のチームがグラウンドに向かって右側を使用する。
- ・ベンチからの指示等は、指導者として相応した言動で臨む。
- ・退席を命じられた指導者は、次の1試合はベンチに入ることができない。それ以降の処置については、第4種規律・フェアプレー委員会で決定する。
- ・交代選手を含む全選手とメンバー表との照合及び用具等のチェックは、試合開始10分前とし、コート本部でチェックを受ける。

天候等の事由による中断・中止の場合

- ・実施の判断は、基本的に当日行うが、状況により前日に中止する場合は、前日の20時に決定し、その後の各地域役員からチーム連絡者へ連絡する。
- ・選手の健康・安全や荒天時(雷等)・グラウンド状況が悪い時は試合を中断する場合がある。

再開できる場合：規定の試合時間の残り時間とする。

再開できない場合：再試合を行う。

試合開始時刻

原則は、次のタイムスケジュールで行うが、会場によっては多少の変更がある。

第1試合	9:20	第2試合	10:10	第3試合	11:00
第4試合	11:50	第5試合	12:40	第6試合	13:30
第7試合	14:20	第8試合	15:10		

その他

- ・各チーム会場到着後、本部で受付をする。
- ・試合中のグラウンド外でのアップ等は、指定された場所で行うこと。ハーフタイム中のグラウンドでのアップ等は、原則として可とする。試合前のグラウンドでの練習等は、本部の指示に従う。
- ・事故のないように十分注意をし、事故発生の際は個人の責任で処理する。
- ・選手の健康管理には、特に留意する。
- ・原則として、会場へは公共交通機関を利用することを望むが、やもを得ず車で来る場合は、会場によって駐車場の台数が制限されます。チームへは事前に案内図等を配布する。